

～専門家派遣事業を活用し安全作業技術の定着～

1 はじめに

森林経営専門家派遣事業を活用した安全作業に関する研修会を軽米町内で開催したので紹介します。

2 研修の目的

今回の研修は、素材生産量が年間約2万m³の事業体から、経験年数が2～4年目の作業員に安全な作業技術を定着させたい旨の要望があり、チェーンソー伐倒（広葉樹の安全な伐倒技術の習得）に関する研修を内容として計画しました。

3 研修内容

第2回WLC日本代表で岩手県伐木技術指導員である工藤健一氏に講師を依頼、工藤氏からは「自らの安全を自ら守ることが重要。基本的な動作、守るべき内容を確認しましょう」といったコメントがあり、研修が始まりました。



【研修の指導項目】

(1) 装備・防護具

汗やオイルで防護ズボン内の繊維が固まるため、定期的な更新が必要

(2) チェンソーの点検・整備

点検、掃除のポイントの説明

(3) ソーチェーンの目立て

現場の伐採樹種に合わせて刃の角度を調整する目立てが重要

(4) 伐倒方向の確認

“ガンマーク”を活用した伐倒方向の確認、15m先でのズレについて体感

(5) 伐倒手順の指導

実際に径30cmのミズナラを伐倒し、受け口の角度、追い口の高さ、ツルの残し方等改善点について指導



(6) 研修後の感想等

・わかったこと

受け口の角度の違い、ガンマークの見方、追い口の残し方 等

・次にやること

伐倒時にはツルの部分を意識、基本を忘れず作業を進め 等

4 まとめ

安全作業の手順や装備の重要性を再確認する研修となりました。

今後、研修を継続して計画し、地域全体で安全作業技術を高め、工藤氏に続くWLC選手が多数輩出されるよう支援を行っていく予定です。